

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小池 正道
(コード：4583 東証グロース)

世界腎臓学会議（WCN' 26）での Semaphorin3A に関する研究成果発表のお知らせ

この度、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学の研究グループによる抗セマフォリン3A抗体を用いた研究成果が、世界腎臓学会議（World Congress of Nephrology 2026：WCN' 26、開催地：パシフィコ横浜、開催期間：2026年3月28日（土）～3月31日（火））において発表されますのでお知らせいたします。

本共同研究では、当社の抗体作製技術であるADLib®システムで取得した抗セマフォリン3A抗体が用いられており、本発表では抗セマフォリン3A抗体による腎線維化マウスモデルにおける病態の抑制効果についてデータを発表いたします。

学会発表の概要は下記の通りです。

抄録番号：WCN26-AB-4660

日 時：2026年3月29日（日）17:00～18:00

発表形式：ポスター

タイトル：「Anti-Semaphorin 3A antibody therapy ameliorates renal fibrosis」

学会HP：<https://www.theisn.org/wcn/>

<ADLib®システム>

ニワトリ DT40 細胞の抗体遺伝子の組換え活性化によって抗体を作製する技術であり、1) 治療薬や診断薬の候補抗体の作製が迅速である（セレクションからスクリーニングまで最短 10 日間程度で完了）、2) 独自の多様化メカニズムに基づいた抗体作製が可能、3) 得られた抗体の標的に対する結合力の強化（親和性向上）が容易、といった特長を有しております。ADLib®は当社の登録商標です。

<抗セマフォリン3A抗体>

セマフォリン3Aは神経の先端の伸長を制御する因子として発見され、これまでの研究によりセマフォリン3Aを阻害することにより神経再生が起こること、また炎症・免疫反応やがん、骨の形成、アルツハイマー病、糖尿病合併症等とも関連していることが報告されております。当社では横浜市立大学五嶋良郎教授との共同研究により選択性と機能阻害活性を兼ね備えた抗体として抗セマフォリン3A抗体を取得しており、BMAAというプロジェクトコードをつけて現在導出活動を進めております。

【本件に関する問い合わせ】

株式会社カイオム・バイオサイエンス IR 担当

電話：03-6383-3561